

メンターとしての指導責任

『科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－』
(グリーンブック)、p100－102

メンターとは

- 成熟した年長者が若い後進に基本的に 1 対 1 の関係で継続的に交流し、適切な役割モデルを提示して発達支援を促すもの
 - － 東北大学における公正な研究推進のための若手研究者支援実施指針

「科学者になること」を支える

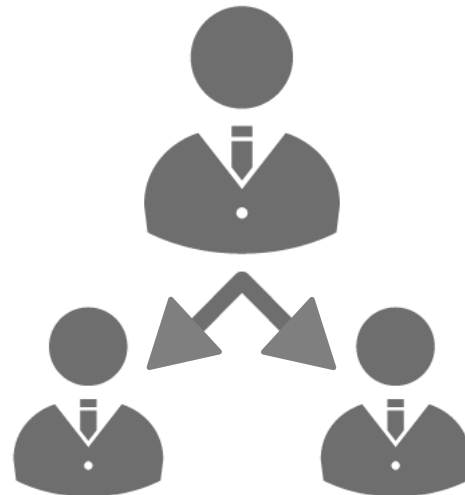


- メンティー（大学院生ら）の、職業上の行動規範の理解と遵守を支える
 - 「科学」教育ではなく「科学者教育」

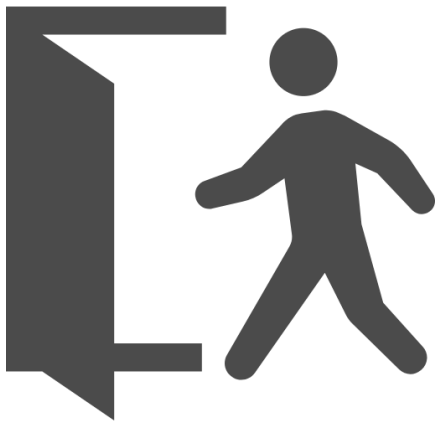


- 後進の科学者であるメンティーとの対話を通して、価値観の共有を図る
 - － 科学者の根源的な役割や社会的責任に関わる問いを継続的に投げかける
 - 「科学者とは何であるか」
 - 「科学研究の目的とは何か」
 - 「人類の福利にどのように貢献できるのか」

- 組織的な研究倫理プログラム
 - － 各研究機関の設立目的やビジョン、組織構成に基づく「価値共有」のための包括的な取り組み
 - 研究上、重視すべき価値群とその優先順位、原則などを倫理綱領や規定の形で明示する
 - これを基に、構成員が適切な意思決定を行うことができるように、権限委譲を行う



- 組織的な研究倫理プログラムの構成要素
 - 各機関の倫理綱領・行動指針などの策定と周知徹底
 - 倫理プログラムの策定・運用とトップのコミットメント・リーダーシップおよび常設専門部署・制度の確立
 - 倫理教育の必要性
 - 研究グループの留意点(自由、公平、透明性、公開性の担保された関係、倫理に関するコミュニケーションなど)
 - 「科学者の行動規範」の遵守を周知徹底
 - 疑義申し立て制度・調査制度の確立・運用
 - コンプライアンス・利益相反ルール
 - 自己点検システムの確立
 - (参考) 日本学術会議の声明「科学者の行動規範について」



博士課程は、
科学研究の世界に入る大事な時期
将来の独創的な研究にしても、博士課程の時期の着想や
研究指導が大きな影響を与えることを理解しておく



博士学位は、
誠実な科学者を養成する課程を修了
したことの証し
研究生活を送っていく上での科学者
の（世界で通用する）パスポート

不十分な質の保証は、学位を有する個々の科学者
だけでなく、科学研究全体への信頼を傷つける
→透明性、公平性のある審査を行う

参考

- 『科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－』（グリーンブック） 56-58,100-102
- 東北大学における公正な研究推進のための若手研究者支援実施指針
 - <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kenkyo/fb/wakate.pdf>